

令和 6 年 2 月 26 日

見附市議会議長 様

見附市議会議員 五十嵐 遼

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第61条第2項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【1】 市立病院と地域医療の連携と今後について

答弁を求める者 市長

1 公立病院の経営状況の悪化や医師不足による診療体制の縮小などから、多くの公立病院で抜本的な改革の実施を求められて15年以上が経過します。その過程において、国は一層進む人口減少、少子高齢化による医療ニーズの変化などに対応するべく医療機関の機能分化・連携を進めることの必要性を訴え「地域医療構想」を進めています。また、高齢者の自立生活の支援を目的に、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう「地域包括ケアシステム」の構築推進をはかっています。

そして、2019年には厚生労働省が公立・公的病院の地域医療構想を踏まえた再編統合の再検証要請として、全国424病院の実名発表をしました。その中には、見附市立病院の名前も入っていました。ただし、この発表は画一的な基準の中で検証され、公立病院の設置者である自治体の首長の考えや各地域の実情について考慮されることがない発表となってしまいました。しかし、この後に新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、日本でも緊急事態宣言を発出するなど感染拡大を防ぐ対応に追われ、その中で公立・公的病院が果たした役割は大きかったと考えます。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ

No. 1



今後、高齢化が進み 2025 年には団塊の世代すべてが 75 歳以上となる中で、市立病院と地域の医院や診療所が連携して対応することがより重要になってきます。そこで、市立病院と地域医療の連携と今後について、以下お伺いします。

- (1) 高齢化が進む中で、市立病院や医院・診療所などを含めた現状の医療体制に対して不安視する声を多くの市民の方からお聞きします。それを踏まえて、見附市の医療体制の現状と課題をどのように認識されているか、お伺いします。
- (2) 見附市立病院は市内で唯一入院が出来る総合病院として市民の命や健康を守る大事な病院ですが、残念ながら慢性的な医師・医療スタッフの不足に悩んでいます。他県の公立病院には総合病院から専門医療体制に特化した病院経営を行っている事例もあるようですが、市立病院は今後も総合病院を目指すのか、専門医療体制への移行は全く考えておられないのか、現状の考えをお聞かせ下さい。
- (3) 昨年、新町地域に新たに開業した 3 医院がありますが、既存の医院や診療所を含め現在 21 医院であり、残念ながら現在進行形で減少傾向かと思われます。令和 2 年度に市内での新規開業を支援する目的で創設した「見附市診療所新規開業支援事業補助制度」は近年の建築費などの高騰を受け、令和 5 年度より、補助上限額を 1,200 万円に増額するなど支援制度を拡充しましたが現在まででその成果ははいかがでしょうか。問い合わせや相談などはあったのでしょうか。また、その診療科目はどのような科目だったのでしょうか。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ

- (4) 加速化する高齢化に伴い高齢者世帯、独居老人世帯など医療難民とも言える市民が増加しています。また、同時にそれらの人々は交通難民でもあったり、更に年金暮らしで医療介護への出費が多く、生活費を圧迫しています。昔は市内の開業医がそういった家庭に往診（訪問医療）という形で診療することも行われてきましたが、現状では不可能なのか。こういった患者の実態はどのように把握されていますか。
- (5) 怪我以外の救急車の搬送で、市立病院で対応できず（宿直医の専門が違うなども含め）、市外の医療機関へ搬送する割合はどのような割合なのか直近の状況をお聞かせ下さい。
- (6) 先端の医療を調べて見ると「医療AI」を積極的に取り入れる病院や診療所等も全国的に現れています。これは自治医科大学がいわゆる生成AIの医療版とも言えるコンピューターを患者の診断や治療に用い、AIによる判定を医師が判断材料にして患者の治療に役立てることが注目されています。これは、医師不足や専門的な診断を補助するとして大きな注目を集め始めていますが、市立病院でも研究してみる価値があるように思われますがいかがお考えでしょうか。
- (7) 医療AIと共に「遠隔医療」についても伺います。こちらは優秀な医師の居られる大病院と連携し、まさに遠隔で診断や治療を行う医療で人工透析にも有効ではないかとの考えもあるようです。医師不足、人材

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ

不足を補う先端技術について考えていくことも重要と考えますが、お考えを伺います。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ